

北海道上川町における基本計画の概要

計画のポイント

上川町は、雇用者数の約51%、売上高の約67%、付加価値額の約33%が「卸売業・小売業」及び「宿泊業・飲食サービス」となっており、「卸売業・小売業」及び「宿泊業・飲食サービス」と関連する観光産業が中心とした経済構造をなしている。

日本最大の山岳公園「大雪山国立公園」を有するほか、北海道有数の温泉街である層雲峡温泉・愛山溪温泉・高原温泉の3つの温泉地があることから、コロナ禍以前の直近3年間で約170万人の観光客が訪問する。また、当町に北海道では70年ぶりに新たな酒造会社が設立され、平成29年5月に酒蔵が新設されたことから、新たな観光資源としての期待も大きい。

こうした地域特性を生かして、観光産業への新規事業者の参入を後押しして、雇用の創出を行うとともに、既存の観光事業者が行う施設の更新を推進し、地域資源を最大限に活かして付加価値を付けることで観光客の増加を図り、観光産業及び関連する産業の付加価値額の増加を目指す。

促進区域

北海道上川町

経済的効果の目標

- ・1件あたり平均47百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を2件創出。
- ・これらの地域経済牽引事業が促進区域で宿泊業は1.55倍、飲食サービスは1.57倍の波及効果を与え、促進区域で**約145百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること】

上川町の大雪山国立公園等の観光資源を活用した**観光関連分野**

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：46.11百万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- ①取引額：1%増加 ②売上：1%増加
- ③雇用者数：5%増加

制度・事業環境の整備

- ・固定資産税の減免措置
- ・上川町が保有する観光関連分野データの公開
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・地域内の事業者における円滑な事業承継の支援

地域経済牽引支援機関

- ・大雪山ツアーズ(株)（地域DMO：平成30年2月設立）
- ・上川町商工会
- ・旭川信用金庫

《促進区域図》



計画期間

計画同意の日から令和10年度末日までとする。